科学実験教室を開催

電気電子情報工学科の 3 年生から大学院生の計２６名が、８月２６日に富士電機株式会社（東京都日野市）が主催する地域貢献活動「２０１６富士電機コミュニティーフェスティバル」に参加した。大学がこのフェスティバルに参加するのは今年で７回目。科学実験教室では、延べ 300 名以上の未就学児及び小学校低学年生からその保護者に科学実験を体験してもらった。

テーマは「フレミングのコマ」、「スライム」、「キーホルダー」、「染料花」、「Ooho」、「われないシャボン玉」などの工作、「ラジオ」「ガウス加速器」などのゲーム、「シャボン玉に入ろう」「３Ｄバーチャル」「自転車発電機」、「振動発電」、「リニアモータ」、「お金で電池」などの体験型実験で、全て学生達が科学を題材に作り上げたものばかり。終了時間が過ぎても、やりたがる子どものために、学生達は一生懸命対応していた。自分で作ったものがユーザーに喜んでもらえる、大学の研究ではなかなか味わえない良い経験をしたようだ。

本取組みは、小室研究室、工藤研究室と瑞慶覧研究室が連携して推進している。